

平成30年度岐阜県障がい者スポーツに関する取組

1 現 状

- 平成24年の「ぎふ清流大会」により醸成された障がい者スポーツ振興の機運を大切に育みながら、障がい者がスポーツを行う環境及び施設の整備を実施することで、スポーツを通じた障がい者の社会参加を促進する。
- 2020年の東京パラリンピック開催を見据え、障がい者スポーツを取り巻く環境が大きく前進している。こうした機運の中で選手強化の取組、障がい者スポーツ全体の裾野拡大の取組みを併せて実施していく必要がある。

2 障がい者スポーツ推進の取組状況

I スポーツを行う障がい者の裾野の拡大

①障がい者スポーツ大会開催事業費（7,939千円）

障がい者の社会参加の推進とスポーツ振興を目指し、身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいを対象とした岐阜県障がい者スポーツ大会を開催する。また、障がい者がスポーツに親しむ機会を設けるとともに、障がい者福祉の増進に資することを目的にスポーツ体験教室を開催する。

<概 要>

■ 岐阜県障害者スポーツ大会春大会「清流スポーツ大会」の実施

全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねた大会を実施。平成30年度は4月14日～5月27日の日程で全国障害者スポーツ大会正式競技について実施。

■ 岐阜県障害者スポーツ大会秋大会「ドリームスポーツ大会」の実施

障がいの程度に関わらず、多くの方に参加していただける大会として、レクリエーション的な要素の強い競技（綱引き、玉入れ、ふれあいラリー等）を実施。

■ 地区別体育大会の実施

地域での障がい者スポーツの普及を図るため、県内各圏域で体育大会を実施。

■ 障がい者スポーツ体験教室の実施

全国障害者スポーツ大会の競技種目を中心に、特別支援学校や障がい者施設等の希望に応じて企画する派遣型の障がい者スポーツの体験教室を実施。

<平成30年度実施状況>

- ・春大会：4月14日（土）～5月27日（日） 参加者 1,168名
- ・秋大会：9月24日（月・祝） 参加者 1,103名
- ・地区別体育大会：9月30日（日）～11月4日（日）
- ・スポーツ教室：9回実施 参加者計 362名

② 障がい者スポーツ振興事業費補助金（17,514 千円）

県の障がい者スポーツの中核を担う岐阜県障害者スポーツ協会の運営を支援するとともに、障がい者スポーツの普及促進に関する取組を支援する。

<概要>

■ 岐阜県障害者スポーツ協会運営費

人件費、事務室借り上げ料の一部を補助。

■ 障がい者スポーツ普及促進事業費

障がい者スポーツ団体等の競技会や練習等の活動を支援し、障がい者がスポーツに参加する機会を拡大。1団体上限 200 千円。

■ 障がい者スポーツ成績優秀者・功労者の表彰

全国障害者スポーツ大会等で優秀な成績を収めた選手及び障がい者スポーツの振興に寄与した者を表彰。

<平成 30 年度実施状況>

- ・障がい者スポーツ普及促進事業：28 団体が実施する競技人口拡大の取組を支援
- ・障がい者スポーツ功労者表彰：

○11 月 27 日（火）

全国障害者スポーツ大会入賞者 個人選手 38 名、1 団体を表彰。

③ 長良川ふれあいマラソン大会支援費（1,200 千円）

障がいのある人もない人も共に同じコースを走る「長良川ふれあいマラソン大会」の開催を支援。

<概要>

■日程 平成 30 年 10 月 7 日（日）

■場所 海津市（長良川サービスセンター）

■競技種目 2 km（車いす、小学生以下男女、一般男女）

クォーター（車いす、一般男女）

ハーフ（競技用車いす男女）

<平成 30 年度実施状況>

- ・第 23 回長良川ふれあいマラソン大会

参加選手 658 名（うち、障がい者 145 名、伴走者 28 名）

④ 愛護ふれあいバス事業費補助金（障がい者スポーツ分）（1,523 千円）

スポーツ参加が困難な重度障がい者等のスポーツ観戦を支援し、障がいの程度を問わず、障がい者の社会参加を促進する。

<概要>

- 実施日 平成30年5月から11月のF C岐阜ホームゲーム開催日
- 場 所 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

<平成30年度実施状況>

総参加者数 344名（うち障がい者134名）

- ・平成30年5月26日（土） 参加者60名（うち、障がい者19名）
- ・平成30年6月2日（土） 参加者104名（うち、障がい者38名）
- ・平成30年6月17日（日） 参加者5名（うち、障がい者2名）
- ・平成30年6月23日（土） 参加者10名（うち、障がい者3名）
- ・平成30年7月8日（日） 参加者3名（うち、障がい者1名）
- ・平成30年8月11日（土） 参加者3名（うち、障がい者1名）
- ・平成30年9月23日（日） 参加者3名（うち、障がい者1名）
- ・平成30年10月13日（土） 参加者69名（うち、障がい者29名）
- ・平成30年10月28日（日） 参加者3名（うち、障がい者1名）
- ・平成30年11月17日（土） 参加者84名（うち、障がい者39名）

II スポーツを行うための環境整備

① 障がい者用体育館等施設整備事業費（1,028,361 千円）

障がい者の室内競技の練習等に活用できる障がい者用体育館を整備するため、建設工事を実施する。（平成31年6月供用開始予定）

<概要>

- 名 称：岐阜県福祉友愛アリーナ
- 整備場所：岐阜市鷺山向井・則武地内
- 施設内容：【1階】
 - サウンドテーブルテニス室（約40㎡）
 - 更衣室・シャワールーム（男・女・家族）等【2階】
 - アリーナ（約1,131㎡）、屋外テラス
 - ・バスケット・バレーボールコート公式1面（練習2面）
 - ・バドミントンコート公式3面
 - ・ボッチャコート公式2面
 - ・シッティングバレー公式2面等

② 新福祉友愛プール管理運営費（88,192 千円）

岐阜県福祉友愛プールにおいて、指定管理者による管理運営を行う。（平成28年12月1日指定管理開始）。

<概要>

■整備場所：岐阜市鷺山向井 2563-18

■主な設備：メインプール：25m×6 コース

（※日本水泳連盟公認規則に則ったコース設定）

メインプールの他に、サブプールやジェットバス、採暖室を設置

2階には会議室及びトレーニングルームを設置

Ⅲ アスリート育成・強化

新 ① パラリンピックを目指すアスリート科学サポート事業（13,507 千円）

<競技スポーツ課>

県スポーツ科学センターに強化指定選手の科学的サポートを行う研究員・専門員を配置し、選手各々の障がいの状態に応じた安全で質の高い科学サポートを提供する。

<概要>

■体力測定、映像撮影・分析、フィジカルトレーニングによる科学的サポート

<平成30年度実施状況>

- ・科学サポート選手数：20名
- ・科学サポート回数：404回

拡 ② パラリンピックを目指すアスリート強化支援事業（25,350 千円）

<競技スポーツ課>

東京パラリンピック等への出場が期待できる県ゆかりの選手及び選手を育てるチームを強化指定。S・A・Bのランク別に指定し、大会出場、強化合宿、日常練習、コンディション調整等に係る経費を総合的に支援。平成30年度は強化指定チームの助成単価、対象チーム数を増。

<概要>

■ 個人指定（）内は交付金上限金額

- ・Sランク：日本代表レベル（1,500千円）
- ・Aランク：日本代表候補レベル（1,000千円）
- ・Bランク：世代別日本代表レベル（800千円）

■ チーム指定（）内は交付金上限金額

- ・Sランク：過去にパラ出場経験がある選手が所属し、その選手が定期的に練習会等に参加しているチームで、選手強化・発掘を積極的に実施しているチーム（700千円）

- ・ Aランク：今後パラ出場可能性がある選手が所属し、その選手が定期的に練習会等に参加しているチームで、選手強化・発掘を積極的に実施しているチーム（500千円）
- ・ Bランク：上記2つには該当しないが、パラ出場を目指す選手発掘・育成を積極的に実施しているチーム。ただし、県レベルの競技協会、競技連盟等の組織に加盟しているチーム。（400千円）

＜平成30年度の実施状況＞

- ・ 個人選手30名と県内障がい者スポーツチーム10団体を強化指定。

③ 障がい者アスリート育成支援事業費補助金（16,184千円）

＜競技スポーツ課＞

パラリンピック等をはじめとした最高峰の大会を目指す選手育成のため、世界大会等に出場する選手の遠征費、競技用具購入等にかかる経費を助成。また、県内競技団体等の設立や指導者育成など、環境整備にかかる経費に対し助成を行う。平成30年度は国際大会出場経費の助成単価がより手厚くなるよう見直し。

＜概要＞

■ **大会出場経費**

準トップ層を対象に、大会等への出場を支援

■ **競技用具購入支援**

競技用車いすなどの競技用具の購入を支援

■ **指導者育成**

公認指導者の養成、指導者のスキルアップを実施

■ **競技団体育成**

障がい者スポーツの競技団体設立等を支援

■ **岐阜県パラアスリートキャンプ（G-PAC）の開催**

障がい者アスリート、指導者、関係者の意識の醸成と知識の習得を図るために開催

＜平成30年度実施状況＞

- ・ 大会出場支援：102件
- ・ 競技用具購入支援：11件
- ・ 指導者育成：8件
- ・ 団体育成：1件
- ・ G-PAC開催
第1回 メンタルトレーニング(平成30年8月28日)
第2回 スポーツ栄養学(平成30年9月11日)

④ 全国障害者スポーツ大会等補助金 (35,782 千円)

全国障害者スポーツ大会や、その予選会である北信越・東海ブロック大会への岐阜県選手団の派遣を実施する。また、全国障害者スポーツ大会を目指す選手に対して、強化・育成事業を実施する。

<概要>

■ 全国障害者スポーツ大会及び北信越東海ブロック大会派遣

全国障害者スポーツ大会への岐阜県選手団の派遣。

■ 大会出場選手強化

大会出場が決定した個人競技選手及び団体競技選手に対して支援を実施。

■ 通年強化実施

全国障害者スポーツ大会終了後も今年度の成果を活かしつつ、来年度の大会を目指す選手を対象に、練習会等の実施及び必要物品等の購入を支援。

<平成 30 年度実施状況>

・岐阜県選手団派遣

大会：第 18 回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」

会場：福井県営陸上競技場 ほか

派遣期間：10 月 11 日(木)～10 月 16 日(火) (大会 10 月 13 日(土)～10 月 15 日(日))

選手団：選手：70 名 (個人競技 44 名、団体競技 26 名)、役員等：47 名

大会結果：総メダル獲得数 59 個 (金 34、銀 15、銅 10) で都道府県・指定都市計 67 団体中 9 番目の成績。

・全国障害者スポーツ大会に向けた強化練習及び合宿

練習 4 回以上、合宿 (遠征・交流試合等を含む) 1 回以上を競技毎に実施。

・全国障害者スポーツ大会を目指す選手に対する支援 (通年での選手強化)

全国障害者スポーツ大会出場が決定する前の選手に対して練習会月 1 回程度を実施。